

宮城県亶理町 吉田中学校と地域創成

『居久根（いぐね）の杜の学び舎』 故郷の風景創成



宮城県・岩手県の水田地帯には海に浮かぶ緑の島のように見える屋敷林（居久根）の風景が数多くみられます。

居久根（イグネ）とは、イは「住居」、クネは「垣根」を意味し、冬の季節風（北西の風）から母屋や畑を守るため幾重にも樹木が植えられ、加えて、天災や飢饉に備えて自給自足を基本とし実のなる木が多く植林されていました。

東日本大震災でも亶理町は津波被害を受けましたが、居久根が家屋を守ったことが減災効果が報告されています。

地域創成科学科では、地元中学校の皆さん（生徒・教職員・PTA）、教育委員会、農大（教員・学生・卒業生）、日本さくらの会の交流・地域連携による屋敷林（いぐね）の風景創成活動の実践しています。

『花いっぱい実いっぱいの杜の学び舎 吉田中学校』校庭緑化計画図

